

利 用 報 告 書

課 題 名 (英 文 名)	企業行動の国際比較分析 International Comparative Analysis on the Behavior of Corporations - An Empirical Study -
利用者名	道明 義弘 (社会学部 教授)
<p>1. 研究目的・内容 日本および米国、カナダ、世界各国の企業についての財務データベースを利用し、企業行動を分析し、行動比較を試みる。</p> <p>2. 研究方法・計算方法 日本政策投資銀行「企業財務データバンク」、S & P's COMPUSTAT、S & P's GLOBAL Vantage のデータをパソコンを用いて処理し、SPSS、TSP等の統計処理ソフトを用いて計算処理を行うことによって、企業行動の解明を試みる。</p> <p>3. 研究成果 本年度は日本企業について、その行動を解明する手がかりとなる下記のような成果を得た。</p> <p>4. 発表・出版実績または予定 「OEM化の規定要因：パネルデータによる先決生の検定－産業（業種）別OEM化のメカニズム－」 道明義弘・伊藤研一・井澤裕司 立命館経済学 第51巻第1号 2002年4月 「企業価値評価モデルと企業財務データベース」 道明義弘・伊藤研一 『奈良大学情報処理センター年報』第13号 2002年10月 「産業（業種）別OEM化と雇用決定のメカニズム：パネルデータによる先決生の検定」 道明義弘・伊藤研一 奈良大学紀要 第30号 2003年3月 「産業（業種）別OEM化と投資決定のメカニズム：パネルデータによる先決生の検定」 道明義弘・伊藤研一・井澤裕司 ファイナンス研究センター リサーチペーパーシリーズ（立命館大学）第02-005号 2003年3月 「会計ビックバンに対応した個別決算企業財務データベースの構築と企業行動分析システム」 道明義弘・伊藤研一・井澤裕司 ファイナンス研究センター リサーチペーパーシリーズ（立命館大学）第02-006号 2003年3月 「会計ビックバンに対応した連結決算企業財務データベースの構築と企業行動分析システム」 道明義弘・伊藤研一・井澤裕司 ファイナンス研究センター リサーチペーパーシリーズ（立命館大学）第02-007号 2003年3月</p>	